

R7.8.1	令和7年度	<b>資料 5</b>
佐世保市歯・口腔の健康づくり推進協議会		

**佐世保市歯・口腔の健康づくり実施計画  
(令和6年度～令和8年度)**

## 事業基本情報

1	課名	すこやか子どもセンター		
2	事業名	1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）	事業開始年度	1977年
3	事業分類 （複数可）	<input checked="" type="checkbox"/> 健診・検診 <input type="checkbox"/> 健康教育 <input type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 予防事業 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 医療提供体制の整備 <input type="checkbox"/> 連携体制の構築 <input type="checkbox"/> 多職種連携 <input type="checkbox"/> 医科歯科連携		
4	分野 （複数可）	<input type="checkbox"/> 歯科保健全般 <input checked="" type="checkbox"/> 母子歯科保健 <input type="checkbox"/> 学校歯科保健 <input type="checkbox"/> 成人歯科保健 <input type="checkbox"/> 高齢者歯科保健 <input type="checkbox"/> 障がい者歯科保健 <input type="checkbox"/> 災害歯科保健 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> その他（その他の分野：      ）		

## 事業概要

5	事業背景	母子保健法第12条に基づき実施。健診結果を踏まえ早期のう蝕予防のために歯科衛生士による個別歯科保健を実施		
6	目的	歯科医師による歯科健診を実施し、乳歯萌出の時期に保護者に対して歯・口腔の清掃の習慣づけについて説明をおこなう		
7	目標とその指標 具体的内容	目標	指標	指標に対する数値目標
		歯・口腔に関する健康格差の縮小	3歳児で4本以上のむし歯のない者の割合	3歳児で4本以上のむし歯のない者の割合の増加 98%（R14年度）＜長期＞
8	事業実施体制	<input type="checkbox"/> 歯科医師（常勤） <input type="checkbox"/> 歯科医師（非常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士（常勤） <input type="checkbox"/> 歯科衛生士（非常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 保健師（常勤） <input type="checkbox"/> 保健師（非常勤） <input type="checkbox"/> 看護師（常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 看護師（非常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 管理栄養士（常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 管理栄養士（非常勤） <input type="checkbox"/> 事務職（常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 事務職（非常勤） <input type="checkbox"/> その他		
	外部連携先 （複数可）	<input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師会 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士会 <input checked="" type="checkbox"/> 医師会 <input type="checkbox"/> 薬剤師会 <input type="checkbox"/> 歯科医療機関 <input type="checkbox"/> 看護協会 <input type="checkbox"/> 学校・保育所・幼稚園等 <input checked="" type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 介護事業所 <input type="checkbox"/> 障がい者（児）事業所 <input checked="" type="checkbox"/> その他市民ボランティア <input checked="" type="checkbox"/> その他（長崎大学小児歯科分野）		
9	対象者	1歳6か月児健康診査受診者		
10	事業の具体的内容	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】 1歳6か月児健康診査受診者に対する歯科診察や指導を実施している。</p> <p>【1歳6か月児健診6か月後フォロー事業（2歳児経過歯科健診）】 ・1歳6か月児健診受診者のうち、歯磨き習慣等の生活習慣・環境の改善が必要と思われる児や要観察歯、むし歯に罹患している児などを対象に2歳になった月に個別で生活習慣・環境の見直しや、所内で実施している歯みんぐルームや乳幼児健診時の歯科健診受診勧奨について情報提供している。 ・歯みんぐルームに来所された時には、歯科医院で行われる予防処置のデモとしてフッ素塗布を実施している。 ・フォロー歯科健診案内にアンケートも同封しており、回収を行っているが、未提出の方には、後日、直接電話で聞き取りを行っている。</p>		

## 基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師1名と歯科衛生士4名(健診介助1名、歯科保健指導3名)で実施</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1歳6か月児健康診査受診者に対する歯科診察や指導を実施</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の1歳6か月児健康診査対象者数は1564名、受診者数は1523名で97.4%が受診をしている。</li> </ul> <p>【1歳6か月児健診6か月後フォロー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月健診受診者のフォロー児は81人中57人からアンケート回収：70.4%</li> <li>・アンケート返信した2歳児経過歯科健診受診した人数は24.7%（所内で受診した児）</li> <li>・アンケート調査からは24.7%の児が歯科医院受診していた</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の1歳6か月健診受診者のうち、う蝕のある者の割合は0.72%である。</li> <li>・健診受診者のうち異常なしの割合は83.5% 要指導2.6%、要観察13.1%であり異常なしの割合が多くを占めている。</li> </ul> <p>【1歳6か月児健診6か月後フォロー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健診時点てかかりつけ歯科医を持っている割合は、フォロー児（53.5%）とそうでない児（45.0%）とフォロー児の方が若干高い。</li> <li>・1歳6か月児健診6か月後フォロー児は全体の5.5%である</li> </ul>
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の1歳6か月児健康診査受診者のうち、う蝕のある者の割合は0.72%である。</li> </ul> <p>【1歳6か月児健診6か月後フォロー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健診時でむし歯になっている児はフォロー児（25.8%）の方がそうでない児（7.8%）に比べて3倍以上高いことから、本事業の継続の必要性が高い。</li> <li>・アンケート回収率はH29年度より80%前後をキープしているが、転出や電話が繋がらないこともあるため、100%回収は難しい。</li> </ul>	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師1名と歯科衛生士4名(健診介助1名、歯科保健指導3名)で実施</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1歳6か月児健康診査受診者に対する歯科診察や指導を実施</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度の1歳6か月児健康診査対象者数は1,349名の予定。</li> </ul> <p>【1歳6か月児健診6か月後フォロー事業(2歳児経過歯科健診)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月健診受診者のフォロー児は100人の予定。(R7年8月時点)</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度の1歳6か月健診受診者のうち、う蝕のある者の割合は0.5%を目指す。</li> </ul> <p>【1歳6か月児健診6か月後フォロー事業(2歳児経過歯科健診)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ歯科医を持っている割合が、3歳児健診時に40%以上を目指す。</li> <li>・1歳6か月健診受診者のフォロー児からのアンケート回収：80%以上を目指す。</li> </ul>
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師1名と歯科衛生士4名(健診介助1名、歯科保健指導3名)で実施</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1歳6か月児健康診査受診者に対する歯科診察や指導を実施</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度の1歳6か月児健康診査対象者数は1,316名の予定。</li> </ul> <p>【1歳6か月児健診6か月後フォロー事業(2歳児経過歯科健診)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月健診受診者のフォロー児は〇〇人の予定。(R8年〇月時点)</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<p>【1歳6か月児健康診査（歯科健康診査）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度の1歳6か月健診受診者のうち、う蝕のある者の割合は0.5%を目指す。</li> </ul> <p>【1歳6か月児健診6か月後フォロー事業(2歳児経過歯科健診)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ歯科医を持っている割合が、3歳児健診時に40%以上を目指す。</li> <li>・1歳6か月健診受診者のフォロー児からのアンケート回収：80%以上を目指す。</li> </ul>



## 基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	フッ化物洗口は、各学校において、フッ化物洗口液の準備、洗口実施、後片付けまでを担当、養護教諭、専科で分担して実施している。
		プロセス （事業実施過程）	週に1回、朝の活動時間(10分程度)を利用して、フッ化物洗口を行っている。
		アウトプット （事業実施量）	フッ化物洗口を行っている回数は学校によって違う場合もあるが、おおよそ、小学校・義務教育前期課程は年間35週の内、24回実施、中学校・義務教育学校後期課程は35週の内18回実施している。
		アウトカム （成果）	フッ化物洗口を行っている小学校・義務教育前期課程は100%、中学校・義務教育学校後期課程は100%である。
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）		コロナ禍を過ぎ、昨年度よりも実施回数が増えてきている。むし歯のない者の割合は令和5年度の72%に対し、令和6年度は72.8%となっており、フッ化物洗口をはじめブラッシング等の指導の成果がみられる。
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	・フッ化物洗口は、各学校において、フッ化物洗口液の準備、洗口実施、後片付けまでを担当、養護教諭、専科で分担して実施している。
		プロセス （事業実施過程）	週に1回、朝の活動時間(10分程度)を利用して、フッ化物洗口を行っている。
		アウトプット （事業実施量）	フッ化物洗口を行っている回数は学校によって違う場合もあるが、おおよそ、小学校・義務教育前期課程は年間35週の内、○回実施、中学校・義務教育学校後期課程は35週の内○回実施している。
		アウトカム （成果）	フッ化物洗口を行っている小学校・義務教育前期課程は100%、中学校・義務教育学校後期課程は100%である。
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	・フッ化物洗口は、各学校において、フッ化物洗口液の準備、洗口実施、後片付けまでを担当、養護教諭、専科で分担して実施している。
		プロセス （事業実施過程）	週に1回、朝の活動時間(10分程度)を利用して、フッ化物洗口を行っている。
		アウトプット （事業実施量）	フッ化物洗口を行っている回数は学校によって違う場合もあるが、おおよそ、小学校・義務教育前期課程は年間35週の内、○回実施、中学校・義務教育学校後期課程は35週の内○回実施している。
		アウトカム （成果）	フッ化物洗口を行っている小学校・義務教育前期課程は100%、中学校・義務教育学校後期課程は100%である。



基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	出前講座については、依頼があった事業所へ歯科衛生士や保健師が出向いて講話を実施する。
		プロセス （事業実施過程）	【資料媒体貸し出し】 ・市のホームページに貸し出し媒体の写真を掲載、貸し出しを希望する事業所は、借用申込書を健康づくり課へ提出。 【出前講座】 ・講座を希望する事業所は、申込書を健康づくり課へ提出し、内容等を打ち合わせの上実施。
		アウトプット （事業実施量）	・歯科の資料媒体貸し出しや出前講座について事業実施は現在、0件
		アウトカム （成果）	・現在、希望の事業所がないため、アウトカム評価できず
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	出前講座については、長崎県も職能団体に依頼をして事業所への講話を実施しているが、10人以上の参加などの規定もあるため、健康づくり課の講話は少数の事業所でも対応可能とすることで、希望する事業所が講話を受講できるような体制は整えているものの、今後はチラシを関係機関に配付するだけでなく、事業所等に出向いて周知を行うなどの取り組みが必要であると思われる。	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	・出前講座については、依頼があった事業所へ歯科衛生士や保健師が出向いて講話を実施する。 ・歯科部門については、延べ2回開催しており、その内1回は歯科医師、残り1回は歯科衛生士が講師として実施
		プロセス （事業実施過程）	【資料媒体貸し出し】 ・市のホームページに貸し出し媒体の写真を掲載、貸し出しを希望する事業所は、借用申込書を健康づくり課へ提出。 【出前講座】 ・講座を希望する事業所は、申込書を健康づくり課へ提出し、内容等を打ち合わせの上実施。
		アウトプット （事業実施量）	・職場の出前講座は歯科部門では延べ3回実施予定（令和7年8月末現在） ・歯科の資料媒体貸し出しや出前講座について事業実施を目指す。 ・保健師の出前講座：4件実施予定（R7.7月末まで）
		アウトカム （成果）	・職場の出前講座の歯科部門では7月末までに延べ2回実施した。 ・実施後アンケート回収率は100% ・2日間で対面21名、オンライン9名の参加があった。 ・平均年齢は50.6歳 ・講話への理解度は「理解できた」と「まあまあ理解できた」を合わせると100%で、今後の生活で「気を付けようと思う」と回答した人も100%であった（不明2名あり）
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	出前講座については、依頼があった事業所へ歯科衛生士や保健師が出向いて講話を実施する。
		プロセス （事業実施過程）	【資料媒体貸し出し】 ・市のホームページに貸し出し媒体の写真を掲載、貸し出しを希望する事業所は、借用申込書を健康づくり課へ提出。 【出前講座】 ・講座を希望する事業所は、申込書を健康づくり課へ提出し、内容等を打ち合わせの上実施。
		アウトプット （事業実施量）	・職場の出前講座は歯科部門で〇回実施 ・歯科の資料媒体貸し出しや出前講座について事業実施を目指す。
		アウトカム （成果）	歯科の出前講座実施後のアンケートで理解度100%を目指す。

## 事業基本情報

1	課名	健康づくり課		
2	事業名	若年者歯科健診	事業開始年度	2024年
3	事業分類 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 健診・検診	<input checked="" type="checkbox"/> 健康教育	<input checked="" type="checkbox"/> 健康相談
		<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 研修	<input type="checkbox"/> 医療提供体制の整備
		<input type="checkbox"/> 多職種連携	<input type="checkbox"/> 医科歯科連携	<input checked="" type="checkbox"/> 連携体制の構築
4	分野 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 歯科保健全般	<input type="checkbox"/> 母子歯科保健	<input type="checkbox"/> 学校歯科保健
		<input type="checkbox"/> 災害歯科保健	<input type="checkbox"/> 食育	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (その他の分野: 18歳以上の学生)

## 事業概要

5	事業背景	ライフコースアプローチを踏まえて、市民の歯・口腔の健康の保持を推進させるために学校歯科健診として法的な歯科健診が終了した後大学進学や就職等により、歯科健診が途切れることから、歯科口腔保健の推進に重点を置いて実施していく。 令和6年度を始期とする第2次「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」の指標の中にも「18歳以上における未処置歯を有する者の割合」や「18歳以上から30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合」を掲げていることから、現状値把握を併せておこなう。		
6	目的	歯科疾患等の早期発見・早期予防のため、若い時から歯科健診を実施し、その後の行動変容に繋げていくようにする。		
7	目標とその指標 具体的内容	目標	指標	指標に対する数値目標
		未処置のむし歯を有する者の減少 歯肉に炎症所見を有する者の減少 歯科健診の受診者の増加	18歳以上における未処置歯を有する者の割合 18歳以上から30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合	いずれも(R14年度)<長期> 18歳以上で未処置歯を有する者の割合の減少 16% 18歳以上から30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 57% 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加 65%
8	事業実施体制	<input type="checkbox"/> 歯科医師(常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師(非常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士(常勤) <input type="checkbox"/> 歯科衛生士(非常勤) <input type="checkbox"/> 保健師(常勤) <input type="checkbox"/> 保健師(非常勤) <input type="checkbox"/> 看護師(常勤) <input type="checkbox"/> 看護師(非常勤) <input type="checkbox"/> 管理栄養士(常勤) <input type="checkbox"/> 管理栄養士(非常勤) <input type="checkbox"/> 事務職(常勤) <input type="checkbox"/> 事務職(非常勤) <input type="checkbox"/> その他( )		
	外部連携先 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師会 <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士会 <input type="checkbox"/> 医師会 <input type="checkbox"/> 薬剤師会 <input type="checkbox"/> 歯科医療機関 <input type="checkbox"/> 看護協会 <input type="checkbox"/> 学校・保育所・幼稚園等 <input checked="" type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 介護事業所 <input type="checkbox"/> 障がい者(児)事業所 <input type="checkbox"/> その他市民ボランティア <input type="checkbox"/> その他( )		
9	対象者	長崎県立大学学生(市内市外在住問わず)		
10	事業の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎県立大学へ事業実施について申し入れを行う。</li> <li>・歯科医師会へ歯科医師の派遣について依頼</li> <li>・大学で実施されている健康診断に併せて歯科健診を実施する。</li> <li>・受診者は市内、市外の在住を問わず実施</li> <li>・当日、長崎大学と歯科医師会の歯科医師が歯科健診を実施し、受診者に対し、歯科衛生士3名が歯科保健指導を行う。</li> <li>・歯科健診の方法としては、成人歯科健診と内容は同じであるが、問診票の中を一部項目を追加している(歯科医院に行かない理由の選択、フッ化物洗口実施について、いつ頃実施していたか)</li> <li>・大学での歯科健診実施後、受診者に対し、事業評価を行うために事後アンケートをWEBで実施。</li> </ul>		

## 基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎大学より3名の歯科医師を派遣（内1名は佐世保市と研究委託を結んでいる研究代表者の歯科医師）</li> <li>・歯科衛生士は常勤2名と非常勤の5名で実施（3名は筆記、3名は指導、1名は全体統括）</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科健診単独では、大学の授業時間が削れないため、健康診断時に同時実施した。</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生451名の内、220名受診（留学生80名、学生140名）</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未処置歯の割合は30.5%であった</li> <li>・歯肉炎の者は17.4%であった</li> <li>・歯科健診実施後、歯科受診に繋がった者は41名（34.7%）であった（118名回答あり）</li> </ul>
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施する側も人数に限りがあったため、学生全員に実施することは難しかったが、学校側の先生方の協力もあり、48.8%の学生が実施することができた。3か月後に事後アンケート調査を実施したところ、53.6%の回答率があった。（歯科健診未受診者も含む）その中で、歯科受診に繋がった者は34.7%であり、歯科医院側と行政側と両方で定期歯科健診の重要性について普及啓発を行っていきけるようにしていきたい。</li> <li>・むし歯や歯周炎は少なかったが、歯肉炎が多かったことから、歯周病予防のブラッシング指導が重要となる。</li> </ul>	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎大学と歯科医師会より歯科医師派遣（大学からは研究委託先より歯科医師従事4名/2日間）</li> <li>・学生1人当たり2分間の持ち時間として考え、歯科医師4名/日（歯科医師会より2名、大学より2名）</li> <li>・歯科衛生士は5名/日で実施</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎県立大学で実施されている4日間の健康診断の内二日間同時開催（4月2日、3日）</li> <li>・事業実施3か月後に、事業評価の為の事後アンケートをWEBで実施。</li> <li>・7月7日（月）～7月25日（金）まで実施</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二日間の対象者860名の内381名の43.5%が受診した。</li> <li>・1年生は別日であったため2年生以上を対象とした。</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未処置歯の割合は13.9%であった</li> <li>・歯肉炎の者は32.5%であった</li> <li>・歯科健診実施後、歯科受診に繋がった者は 名であった（〇〇名回答あり）</li> </ul>
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎大学と歯科医師会より歯科医師を派遣（大学からは研究委託先より歯科医師従事4名/2日間）</li> <li>・学生1人当たり2分間の持ち時間として考え、歯科医師4名</li> <li>・歯科衛生士は常勤2名と非常勤の5名で実施</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学で実施されている健康診断時に同時開催予定</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の45%以上の学生に実施（主に1～2年生を対象）</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施3か月後に、事業評価の為の事後アンケートをWEBで実施予定</li> </ul>

## 事業基本情報

1	課名	健康づくり課		
2	事業名	歯科健診受診勧奨 (成人歯科健診・節目歯科健診・妊産婦歯科健診)	事業開始年度	2000年
3	事業分類 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 健診・検診 <input checked="" type="checkbox"/> 健康教育 <input checked="" type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 予防事業 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 研修 <input checked="" type="checkbox"/> 医療提供体制の整備 <input type="checkbox"/> 連携体制の構築 <input type="checkbox"/> 多職種連携 <input type="checkbox"/> 医科歯科連携		
4	分野 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 歯科保健全般 <input type="checkbox"/> 母子歯科保健 <input type="checkbox"/> 学校歯科保健 <input checked="" type="checkbox"/> 成人歯科保健 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者歯科保健 <input type="checkbox"/> 障がい者歯科保健 <input type="checkbox"/> 災害歯科保健 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> その他 (その他の分野: )		

## 事業概要

5	事業背景	健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として歯周病検診を高校生を除く18歳以上の市民の方を対象に実施。本市では平成12年度から保健所内で実施していたが、平成15年度から佐世保市歯科医師会に委託し地域の歯科医院でも実施できるようになった。平成20年度からは妊婦、平成22年度からは産婦を含む妊産婦が窓口負担金なしで受診可能となる。また、かかりつけ歯科医を持つ市民を増やすために成人歯科健診の制度を周知し、受診に繋げるために節目の対象者（30.40.50.60歳）に受診勧奨はがきを郵送している。
6	目的	佐世保市に住民票がある方に対し、歯科医院にかかるきっかけを作り、その後の定期的な受診に繋げ、かかりつけ歯科医を持つ市民を増加させる。

		目標	指標	指標に対する数値目標
7	目標とその指標 具体的内容	歯・口腔に関する健康格差の縮小 未処置のむし歯を有する者の減少 歯肉に炎症所見を有する者の減少 歯周病を有する者の減少 より多くの自分の歯を有する高齢者の増加 よく噛んで食べることができる者の増加 歯科健診の受診者の増加	40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合 18歳以上における未処置歯を有する者の割合 18歳から30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合 40歳以上における歯周炎を有する者の割合 80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合 50歳以上における咀嚼良好者の割合 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合	いずれも（R14年度）＜長期＞ 40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合の減少 9% 18歳以上における未処置歯を有する者の割合の減少 16% 18歳から30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 57% 40歳以上における歯周炎を有する者の割合の減少 44% 80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加 70% 50歳以上における咀嚼良好者の割合の増加 80% 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合 60%

8	事業実施体制	従事者の職種 (複数可) <input type="checkbox"/> 歯科医師 (常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師 (非常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士 (常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士 (非常勤) <input type="checkbox"/> 保健師 (常勤) <input type="checkbox"/> 保健師 (非常勤) <input type="checkbox"/> 看護師 (常勤) <input type="checkbox"/> 看護師 (非常勤) <input type="checkbox"/> 管理栄養士 (常勤) <input type="checkbox"/> 管理栄養士 (非常勤) <input type="checkbox"/> 事務職 (常勤) <input type="checkbox"/> 事務職 (非常勤) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	外部連携先 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師会 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士会 <input type="checkbox"/> 医師会 <input type="checkbox"/> 薬剤師会 <input type="checkbox"/> 歯科医療機関 <input type="checkbox"/> 看護協会 <input type="checkbox"/> 学校・保育所・幼稚園等 <input checked="" type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 介護事業所 <input type="checkbox"/> 障がい者(児)事業所 <input type="checkbox"/> その他市民ボランティア <input type="checkbox"/> その他 ( )

9	対象者	・高校生を除く18歳以上の佐世保市民（上限なし）・妊産婦に関しては18歳未満も対象 ・満30.40.50.60歳の佐世保市民
---	-----	---

10	事業の具体的内容	・すこやかプラザで実施する時は無料、歯科医院で受診する際は、節目年齢対象者と妊産婦、高校生を除く18、19歳以外は500円の窓口負担 ・口腔内診査と歯科保健指導を実施し、健診当日の治療はなし ・妊産婦に関しては、母子健康手帳別冊に無料歯科健診受診券を添付（妊婦と産婦時の2枚） ・80歳以上で20本以上の歯を持っている人には、市長名と歯科医師会長名の連名で「8020認定証」を発行し、自宅へ郵送している。（希望者のみ） ・2020年度から、節目年齢対象者には前期と後期に分けてはがきで郵送（無料で受診できる有効期限は5か月としている）
----	----------	---

基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会に委託し、成人歯科健診登録歯科医院82件において実施。</li> <li>・毎月1～2回火曜日（不定期）に長崎大学の歯科医師による成人歯科健診をすこやかプラザにて実施。また、離島での住民健診の際にも実施。</li> <li>・節目年齢の11,040名の対象者へ自宅へ受診勧奨はがきをまとめて郵送。</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催時や健康教室、健康づくり課窓口、妊婦への母子健康手帳交付時にチラシ配布。その他に6月時期には市役所とすこやかプラザを結ぶ連絡通路にチラシ設置。保健師・管理栄養士が出向く健康教育におけるチラシ配布、6月の歯・口腔の健康づくり普及月間に併せて、イオン大塔店でのチラシ配布、従業員への普及啓発の依頼などを実施していくこととしている。11月には歯科医師による歯科相談を実施し、定期歯科健診の重要性について周知。</li> <li>・国民健康保険加入者の30歳～39歳にも若年者健診の案内はがきに成人歯科健診について記載し、併せて、情報提供を行っている。佐世保市オンライン予約(ライン予約)で所内実施分の歯周病健診・歯科相談の予約受付を開始。</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度は1,445名（節目成人歯科健診除く成人歯科健診568名、妊婦293名、産婦75名）</li> <li>・2024年度は節目年齢の509名が受診した。</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人歯科健診を受診した受診者の内、過去1年間に歯科健診を受診していない割合は48.2%であり、節目年齢では46.3%と約45%以上が歯科健診を受診するきっかけとなっている。</li> <li>・成人歯科健診の認知度は2024年度に開催されたデンタルフェスティバルにおいて、57%の市民に認知されていた。</li> <li>・8020認定証は2024年度は14名だった。</li> <li>・節目成人歯科健診は、2024年度の受診率は4.6%であった。</li> <li>・節目歯科健診受診後の3か月後に歯科受診の追跡調査を実施している。その結果、令和5年度では約56.4%が歯周疾患であった。（不明もあり）</li> </ul>
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	<p>8020認定証発行しているが、対象者の方はすでに定期歯科健診を受診している可能性が高いため、発行数は少ないことから、認定証発行に関しては、事業見直しの必要性もあると考えられる。</p>	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会に委託し、成人歯科健診登録歯科医院82件において実施。</li> <li>・毎月1～2回火曜日（不定期）に長崎大学の歯科医師による成人歯科健診をすこやかプラザにて実施。</li> <li>・離島での住民健診の際にも実施。</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催時や健康教室、健康づくり課窓口、妊婦への母子健康手帳交付時にチラシ配布。その他に6月時期には市役所とすこやかプラザを結ぶ連絡通路や図書館等にチラシ設置。</li> <li>・佐世保市オンライン予約(ライン予約)で所内実施分の歯周病健診・歯科相談の予約受付実施。広報誌での周知(所内歯科健診・相談日を記載して「お口のお悩み相談会」での掲載を開始)</li> <li>・国民健康保険加入者の30歳～39歳にも若年者健診の案内はがきに成人歯科健診について記載し、併せて、情報提供を行っている。</li> <li>・節目年齢対象者10,810名（前期と後期併せて）の自宅へ受診勧奨はがきをまとめて郵送。</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年度は歯科健診受診者1250名を目標とする。</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人歯科健診が歯科健診を受診するきっかけとなること。</li> <li>・成人歯科健診の認知度を増やす</li> <li>・節目歯科健診受診後の3か月後に歯科受診の追跡調査を実施していく。</li> </ul>
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会に委託し、成人歯科健診登録歯科医院において実施。</li> <li>・毎月1～2回火曜日（不定期）に長崎大学の歯科医師による成人歯科健診をすこやかプラザにて実施。</li> <li>・離島での住民健診の際にも実施。</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催時や健康教室、健康づくり課窓口、妊婦への母子健康手帳交付時にチラシ配布。その他に6月時期には市役所とすこやかプラザを結ぶ連絡通路や図書館等にチラシ設置。</li> <li>・国民健康保険加入者の30歳～39歳にも若年者健診の案内はがきに成人歯科健診について記載し、併せて、情報提供を行う。</li> <li>・節目年齢対象者の自宅へ受診勧奨はがきをまとめて郵送。</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年度は歯科健診受診者1,300名を目標とする。</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人歯科健診が歯科健診を受診するきっかけとなること。</li> <li>・成人歯科健診の認知度を増やす</li> <li>・節目歯科健診受診後の3か月後に歯科受診の追跡調査を実施していく。</li> </ul>



## 基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内では、養護教諭、保健主事を中心として、学校歯科医や家庭と連携しながら、歯科保健指導や予防啓発活動を行う。</li> <li>・歯科医師会始め他の歯科医療機関、行政他部局と連携し、歯科保健に関する協議や指導を行う。</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科健診時や歯と口の健康週間等における歯科医師や、養護教諭による歯科保健教育。</li> <li>・保健だより等における、生徒や家庭への歯周病予防の啓発活動。</li> <li>・学校保健委員会等での、歯科医師による教職員や保護者への歯科保健指導。</li> <li>・デンタルフェスティバルでの啓発活動。</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	全ての生徒が学校歯科健診において、歯茎の炎症について診察してもらっている。
		アウトカム （成果）	中学生の時期において、歯肉に炎症所見を有する者の割合は、1.54%である。
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	各校への啓発として、歯と口の健康週間時の啓発、研修会の案内、学校保健会等でよりよい取組をしている学校の紹介などを行った。歯周病の割合について、さらに減少させるために、意識の掲揚を今後も図っていききたい。また、職員や生徒の意識を実践へとつなげていく具体的な内容について検討していきたい。	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内では、養護教諭、保健主事を中心として、学校歯科医や家庭と連携しながら、歯科保健指導や予防啓発活動を実施。</li> <li>・歯科医師会始め他の歯科医療機関、行政他部局と連携し、歯科保健に関する協議や指導を実施。</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科健診時や歯と口の健康週間等における歯科医師や、養護教諭による歯科保健教育。</li> <li>・保健だより等における、生徒や家庭への歯周病予防の啓発活動。</li> <li>・学校保健委員会等での、歯科医師による教職員や保護者への歯科保健指導。</li> <li>・デンタルフェスティバルでの啓発活動。</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	全ての生徒が学校歯科健診において、歯茎の炎症について診察をする。
		アウトカム （成果）	中学生の時期において、歯肉に炎症所見を有する者の割合は、 %である。
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内では、養護教諭、保健主事を中心として、学校歯科医や家庭と連携しながら、歯科保健指導や予防啓発活動を実施。</li> <li>・歯科医師会始め他の歯科医療機関、行政他部局と連携し、歯科保健に関する協議や指導を実施。</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科健診時や歯と口の健康週間等における歯科医師や、養護教諭による歯科保健教育。</li> <li>・保健だより等における、生徒や家庭への歯周病予防の啓発活動。</li> <li>・学校保健委員会等での、歯科医師による教職員や保護者への歯科保健指導。</li> <li>・デンタルフェスティバルでの啓発活動。</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	全ての生徒が学校歯科健診において、歯茎の炎症について診察をする。
		アウトカム （成果）	中学生の時期において、歯肉に炎症所見を有する者の割合は、 %である。

## 事業基本情報

1	課名	健康づくり課		
2	事業名	若年層歯科疾患予防啓発 (青年期の食育推進事業及び未成年者飲酒・喫煙防止事業)	事業開始年度	2019年
3	事業分類 (複数可)	<input type="checkbox"/> 健診・検診 <input checked="" type="checkbox"/> 健康教育 <input type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 予防事業 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 医療提供体制の整備 <input type="checkbox"/> 連携体制の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 多職種連携 <input type="checkbox"/> 医科歯科連携		
4	分野 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 歯科保健全般 <input type="checkbox"/> 母子歯科保健 <input checked="" type="checkbox"/> 学校歯科保健 <input checked="" type="checkbox"/> 成人歯科保健 <input type="checkbox"/> 高齢者歯科保健 <input type="checkbox"/> 障がい者歯科保健 <input type="checkbox"/> 災害歯科保健 <input checked="" type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> その他 (その他の分野: )		

## 事業概要

5	事業背景	青年期は、家庭から自立する時期であり、食生活を含めた生活リズムが変化しやすく、成人期以降の生活習慣病の原因に繋がることもある。また、学生の保護者や教職員は働き盛り世代であることから、歯周病や定期歯科健診の重要性についても併せて普及啓発を行う。		
6	目的	食生活を含めた生活リズムが変化しやすい現状を踏まえ、「食と健康との関係」「適切な食の選択」「未成年者飲酒・喫煙防止」「学齢期の歯科疾患予防」についての知識を深めるために実施する。		
7	目標とその指標 具体的内容	目標	指標	指標に対する数値目標
		歯肉に炎症所見を有する者の減少 歯科健診の受診者の増加 歯・口腔に関する健康格差の縮小 未処置のむし歯を有する者の減少 歯周病を有する者の減少 よく噛んで食べることができる者の増加	中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合 40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合 18歳以上における未処置歯を有する者の割合 40歳以上における歯周炎を有する者の割合 50歳以上における咀嚼良好者の割合	いずれも(R14年度)<長期> 中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 0.5%(高校生) 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加 65% 40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合の減少 9% 18歳以上における未処置歯を有する者の割合の減少 16% 40歳以上における歯周炎を有する者の割合の減少 44% 50歳以上における咀嚼良好者の割合の増加 80%
8	事業実施体制	<input type="checkbox"/> 歯科医師(常勤) <input type="checkbox"/> 歯科医師(非常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士(常勤) <input type="checkbox"/> 歯科衛生士(非常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 保健師(常勤) <input type="checkbox"/> 保健師(非常勤) <input type="checkbox"/> 看護師(常勤) <input type="checkbox"/> 看護師(非常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 管理栄養士(常勤) <input checked="" type="checkbox"/> 管理栄養士(非常勤) <input type="checkbox"/> 事務職(常勤) <input type="checkbox"/> 事務職(非常勤) <input type="checkbox"/> その他( )		
	外部連携先 (複数可)	<input type="checkbox"/> 歯科医師会 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士会 <input type="checkbox"/> 医師会 <input type="checkbox"/> 薬剤師会 <input type="checkbox"/> 歯科医療機関 <input type="checkbox"/> 看護協会 <input type="checkbox"/> 学校・保育所・幼稚園等 <input type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 介護事業所 <input type="checkbox"/> 障がい者(児)事業所 <input checked="" type="checkbox"/> その他市民ボランティア(食生活改善推進員) <input type="checkbox"/> その他( )		
9	対象者	高校生及び来場された保護者や家族・地域の方など		
10	事業の具体的内容	・本事業は、平成27年度から青年期の食育推進事業として高校文化祭へのブース出展を開始し、令和元年度から歯科衛生士も一緒に同行するようになった。 ・市内高等学校14校中、文化祭を実施する13校から毎年対象校を決め、現在は管理栄養士と保健師で2校、管理栄養士と歯科衛生士で2校という組み合わせで、ブースを出展している。 ・管理栄養士は食育についてのクイズやパネル展示、味覚チェック、保健師は未成年者飲酒・喫煙防止についてのパネル展示やアルコールパッチテスト、歯科衛生士は学齢期の歯科疾患予防等についてのクイズやパネル展示、PHテストなどとおして、学生等への普及啓発を行う。 ・学校職員や来場する保護者も働き盛り世代であるため、歯周病と全身疾患の関係の冊子や成人歯科健診チラシも事前に配布している。		

## 基本情報（実施計画3年間）

基本情報（実施計画3年間）			
11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	・管理栄養士2名と保健師2名で2校、管理栄養士2名と歯科衛生士2名で2校で実施 ・歯科衛生士は佐世保南高等学校と佐世保商業高等学校で実施
		プロセス （事業実施過程）	文化祭の時に実施。
		アウトプット （事業実施量）	・それぞれ歯科のブースには、佐世保南高等学校は126名の来場者、佐世保商業高等学校は100名の来場者。
		アウトカム （成果）	・佐世保南高等学校の来場者は高校生が最も多く、次いで、40歳代が来場していた。 ・佐世保商業高等学校は高校生が最も多く、次いで中学生以下と40歳代が来場していた。 ・年に1回歯科医院で歯科健診を受けている割合はどちらも60%以上であった。（南校64%、商業77.6%）
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者の割合として、保護者も多いことから働き盛り世代へも歯周病の知識の普及や、定期健診の重要性について伝えることができた。</li> <li>・文化祭の中で実施しているため、他のイベントが開催されているときには来場者数が鈍ることもある。クイズをしているが、クイズの答えは展示パネル内にある問題を出しているの、引き続き、パネルを見てくれるような工夫をしていかなければならない。</li> </ul>	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	・管理栄養士2名と保健師2名で1校、管理栄養士2名と歯科衛生士2名で1校で実施予定。 ・現在、実施する高校については調整中。 ・実施不可となった場合は、リーフレット配布予定。
		プロセス （事業実施過程）	文化祭の時に実施。
		アウトプット （事業実施量）	・それぞれ歯科のブースには、100名程の来場者を見込む
		アウトカム （成果）	・実施する高校について調整中のためアウトカムについては未定。
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	・管理栄養士2名と保健師2名で2校、管理栄養士2名と歯科衛生士2名で2校で実施
		プロセス （事業実施過程）	文化祭の時に実施。
		アウトプット （事業実施量）	・それぞれ歯科のブースには、100名程の来場者を見込む
		アウトカム （成果）	・主に高校生や保護者（働き盛り世代）、教職員の来場者を獲得する。 ・年に1回歯科医院で歯科健診を受けている割合を調査

## 事業基本情報

1	課名	障がい福祉課		
2	事業名	障がい者歯科保健事業	事業開始年度	2001年
3	事業分類 (複数可)	<input type="checkbox"/> 健診・検診 <input checked="" type="checkbox"/> 健康教育 <input type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 予防事業 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 医療提供体制の整備 <input type="checkbox"/> 連携体制の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 多職種連携 <input type="checkbox"/> 医科歯科連携		
4	分野 (複数可)	<input type="checkbox"/> 歯科保健全般 <input type="checkbox"/> 母子歯科保健 <input type="checkbox"/> 学校歯科保健 <input type="checkbox"/> 成人歯科保健 <input type="checkbox"/> 高齢者歯科保健 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい者歯科保健 <input type="checkbox"/> 災害歯科保健 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> その他（その他の分野：      ）		

## 事業概要

5	事業背景	平成12年に作成された「佐世保市歯科保健基本計画」（平成12年度～24年度）、その後は「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」を基に、平成13年度から施設入所者を対象に、障がい者歯科健康教育事業を展開した。 平成20年度からは、ヘルパー、ケアマネ、施設職員を対象に講演会を実施し、平成27年度からは、事業所職員へ向けに研修会を実施した。歯科保健への理解や定期健診等が進み、積極的な周知を実施している。また、居宅介護の支給決定者への勘案事項に、かかりつけ歯科医・受診状況の記入を徹底するようになり、かかりつけ歯科医をもつことの意識も推進できている。												
6	目的	障がい者の歯科保健の充実を図る 障がい者のかかりつけ歯科医の基盤の整備につとめる												
7	目標とその指標 具体的内容	目標	指標	指標に対する数値目標										
		障がい者（児）の歯科口腔保健の推進	1) 障がい者（児）支援施設（施設入所支援）での過去1年間の歯科健診実施率 2) 居宅系サービスを利用している障がい者（児）の過去1年間の歯科健診受診率・歯科受診率	中間評価時に設定予定										
8	事業実施体制	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">従事者の職種 (複数可)</td> <td colspan="4"> <input type="checkbox"/> 歯科医師（常勤）      <input type="checkbox"/> 歯科医師（非常勤）      <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士（常勤）      <input type="checkbox"/> 歯科衛生士（非常勤）      <input checked="" type="checkbox"/> 保健師（常勤）  <input type="checkbox"/> 保健師（非常勤）      <input type="checkbox"/> 看護師（常勤）      <input type="checkbox"/> 看護師（非常勤）      <input type="checkbox"/> 管理栄養士（常勤）      <input type="checkbox"/> 管理栄養士（非常勤）  <input type="checkbox"/> 事務職（常勤）      <input type="checkbox"/> 事務職（非常勤）      <input type="checkbox"/> その他（      ）                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外部連携先 (複数可)</td> <td colspan="4"> <input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師会      <input type="checkbox"/> 歯科衛生士会      <input type="checkbox"/> 医師会      <input type="checkbox"/> 薬剤師会      <input type="checkbox"/> 歯科医療機関  <input type="checkbox"/> 看護協会      <input type="checkbox"/> 学校・保育所・幼稚園等      <input type="checkbox"/> 大学・研究機関      <input type="checkbox"/> 企業      <input type="checkbox"/> 介護事業所  <input type="checkbox"/> 障がい者（児）事業所      <input type="checkbox"/> その他市民ボランティア      <input type="checkbox"/> その他（      ）                 </td> </tr> </table>			従事者の職種 (複数可)	<input type="checkbox"/> 歯科医師（常勤） <input type="checkbox"/> 歯科医師（非常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士（常勤） <input type="checkbox"/> 歯科衛生士（非常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 保健師（常勤） <input type="checkbox"/> 保健師（非常勤） <input type="checkbox"/> 看護師（常勤） <input type="checkbox"/> 看護師（非常勤） <input type="checkbox"/> 管理栄養士（常勤） <input type="checkbox"/> 管理栄養士（非常勤） <input type="checkbox"/> 事務職（常勤） <input type="checkbox"/> 事務職（非常勤） <input type="checkbox"/> その他（      ）				外部連携先 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師会 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士会 <input type="checkbox"/> 医師会 <input type="checkbox"/> 薬剤師会 <input type="checkbox"/> 歯科医療機関 <input type="checkbox"/> 看護協会 <input type="checkbox"/> 学校・保育所・幼稚園等 <input type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 介護事業所 <input type="checkbox"/> 障がい者（児）事業所 <input type="checkbox"/> その他市民ボランティア <input type="checkbox"/> その他（      ）			
従事者の職種 (複数可)	<input type="checkbox"/> 歯科医師（常勤） <input type="checkbox"/> 歯科医師（非常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 歯科衛生士（常勤） <input type="checkbox"/> 歯科衛生士（非常勤） <input checked="" type="checkbox"/> 保健師（常勤） <input type="checkbox"/> 保健師（非常勤） <input type="checkbox"/> 看護師（常勤） <input type="checkbox"/> 看護師（非常勤） <input type="checkbox"/> 管理栄養士（常勤） <input type="checkbox"/> 管理栄養士（非常勤） <input type="checkbox"/> 事務職（常勤） <input type="checkbox"/> 事務職（非常勤） <input type="checkbox"/> その他（      ）													
外部連携先 (複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師会 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士会 <input type="checkbox"/> 医師会 <input type="checkbox"/> 薬剤師会 <input type="checkbox"/> 歯科医療機関 <input type="checkbox"/> 看護協会 <input type="checkbox"/> 学校・保育所・幼稚園等 <input type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 介護事業所 <input type="checkbox"/> 障がい者（児）事業所 <input type="checkbox"/> その他市民ボランティア <input type="checkbox"/> その他（      ）													
9	対象者	佐世保市在住の障がい者（児）とその家族、障がい福祉サービス事業所職員												
10	事業の具体的内容	1. 障がい福祉サービス事業所研修会での歯科保健講話（障がい福祉サービス事業所研修会の実施方法を見直し中のため実施未定） 2. 歯科受診勧奨に関すること 3. 歯科巡回診療や歯科健診の周知 4. 勘案事項整理表より歯科受診状況の把握												

基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	事業担当は保健師2名 事業所向け研修時に健康づくり課の歯科衛生士1名が講話実施
		プロセス （事業実施過程）	障がい福祉サービス事業所に従事して1～3年の職員を対象に障がい者歯科保健に関する講話を実施 歯科巡回診療と歯科健診について、市のホームページ、広報させばへの掲載とチラシの設置を行っている 勘案事項整理表よりかかりつけ医の有無や定期歯科健診、受診の有無を確認
		アウトプット （事業実施量）	令和6年度障がい福祉サービス事業所研修会では65人の方の参加があった。 令和6年度の勘案事項整理表より、614人に対して、歯科のかかりつけ医の有無や定期健診の有無を確認
		アウトカム （成果）	かかりつけ医が「あり」は全体の52.3%、「なし」は28.8%、回答なしが18.9% 定期的な健診を受けている者は全体の31.4%、「症状があるときのみ受診」は19.7%、「受診なし」は13.0%、「回答なし」が35.8%であった。（令和6年度勘案事項整理表より集計） 令和6年度事業所向け研修会における障がい者歯科保健について『知識や技能、考え方について理解できた』かどうかにか「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合は84.1%であった。
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	事業の内容どおり実施することができた。 かかりつけ医が「あり」と答えたものは令和5年度より増加している。、定期的な健診の有無については横ばいという結果になった。どちらも「回答なし」の割合が減少していたため、継続して回答率をあげ、受診率をあげるための取り組みを行っていく必要がある。	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	事業担当は保健師2名 事業所向け研修時に健康づくり課の歯科衛生士1名が講話実施
		プロセス （事業実施過程）	障がい福祉サービス事業所に従事して1～3年の職員を対象に障がい者歯科保健に関する講話を実施予定。 歯科巡回診療と歯科健診について、市のホームページ、広報させばへの掲載とチラシの設置予定。 勘案事項整理表よりかかりつけ医の有無や定期歯科健診、受診の有無を確認していく。 勘案事項整理表の歯科の項目について回答率をあげるため、相談支援事業所へ周知していく。
		アウトプット （事業実施量）	障がい福祉サービス事業所研修会は、実施方法の見直しのため、例年の開催時期に実施できなかったが、今後再開した際に障がい福祉サービス事業所に従事して1～3年の職員を対象に障がい者歯科保健に関する講話を実施する予定。 令和7年度の勘案事項整理表より、〇〇人に対して、歯科のかかりつけ医の有無や定期健診の有無を確認
		アウトカム （成果）	かかりつけ医「あり」の割合が前年度より増加or減少 定期的な健診を受けている者が前年度より増加or減少（令和7年度勘案事項整理表より集計） 事業所向け研修会における障がい者歯科保健について『知識や技能、考え方について理解できた』かどうかにか「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合は85%となるよう目指す。
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	事業担当は保健師2名 事業所向け研修時に健康づくり課の歯科衛生士1名が講話実施
		プロセス （事業実施過程）	障がい福祉サービス事業所に従事して1～3年の職員を対象に障がい者歯科保健に関する講話を実施予定。 歯科巡回診療と歯科健診について、市のホームページ、広報させばへの掲載とチラシの設置予定。 勘案事項整理表よりかかりつけ医の有無や定期歯科健診、受診の有無を確認していく。 勘案事項整理表の歯科の項目について回答率をあげるため、相談支援事業所へ周知していく。
		アウトプット （事業実施量）	障がい福祉サービス事業所研修会 令和8年度の勘案事項整理表より、〇〇人に対して、歯科のかかりつけ医の有無や定期健診の有無を確認
		アウトカム （成果）	かかりつけ医「あり」の割合が前年度より増加or減少 定期的な健診を受けている者が前年度より増加or減少（令和8年度勘案事項整理表より集計） 事業所向け研修会における障がい者歯科保健について『知識や技能、考え方について理解できた』かどうかにか「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合は85%となるよう目指す。



基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	・市内すべての高齢者入所施設 35施設（介護老人福祉施設20施設、介護老人保健施設11施設、介護医療院4施設） に対して調査を図る。 ・市内すべての障がい者(児)支援施設 7施設(施設入所支援)に対して調査を図る。
		プロセス （事業実施過程）	・長寿社会課と障がい福祉科・健康づくり課で役割分担をして実施を図る。 ・（健康づくり課）調査票の作成 ・（長寿社会課）対象施設先となる各施設の連絡箱を利用するなどして調査票の送付をする。 また、連絡箱がない施設にはメールを利用して施設先に調査票を送信し、回答依頼をおこなう。 ・（障がい福祉課）対象施設先となるメーリングリストより調査票を送信し、回答依頼をおこなう。
		アウトプット （事業実施量）	2022年度の対象施設数 高齢者：29施設（介護老人福祉施設 20施設、介護老人保健施設 9施設） " 障がい者：7施設
		アウトカム （成果）	2022年度は、高齢者入所施設 29施設中、27施設が回答（93%） ・介護老人施設での歯科健診実施ありは44%であり、年1回以上の歯科医師による定期健診受診率は15%（4件）であった。 ・介護老人施設での歯科医師・歯科衛生士から歯科保健指導を受ける施設78%であり、歯科健診歯科保健指導共に、前調査の2016年度(H28年度)から減少傾向であった。なお、2024年度は、88.9% 2022年度は、障がい者(児)入所施設 7施設中、7施設が回答（100%） ・障がい者(児)施設での歯科健診実施ありは100%であり、年1回以上の歯科医師による定期健診受診率は43%（3件）であった。 ・障がい者(児)施設での歯科医師・歯科衛生士から歯科保健指導を受ける施設86%であり、歯科健診歯科保健指導共に、前調査の2016年度(H28年度)から減少傾向であった。なお、2024年度は、85.7%
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	高齢者及び障がい者(児)の口腔機能の維持管理を含めて、口腔機能低下(オーラルフレイル)対策が重要視されている中、入所者の口腔内の把握は必要なことである。そのためには、すべての入所施設での歯科医師による定期的(年1回以上)な歯科健診は、全身の健康にも係わってくる点であるため、毎年の入所者すべての歯科健診の継続実施が重要であると考えられる。また、毎年の実態調査により改善すべき点の把握と共に対象となる入所施設に対して支援介入をおこなっていけると考えられる。	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	・市内すべての高齢者入所施設と障がい者(児)支援施設(施設入所支援)に対して調査を図る。
		プロセス （事業実施過程）	・長寿社会課と障がい福祉課科・健康づくり課で役割分担をして実施を図る。 ・（健康づくり課）経過把握のための調査内容の見直し(簡易版) ・（長寿社会課）対象施設先となる各施設の連絡箱を利用するなどして調査票の送付をする。 ・（障がい福祉課）対象施設先となるメーリングリストより調査票を送信し、回答依頼をおこなう。
		アウトプット （事業実施量）	調査を実施した施設からの回答率100%を目指す
		アウトカム （成果）	・入所施設において歯科健診実施率が前年度より増加
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	・市内すべての高齢者入所施設と障がい者(児)支援施設(施設入所支援)に対して調査を図る。
		プロセス （事業実施過程）	・長寿社会課と障がい福祉課・健康づくり課で役割分担をして実施を図る。 ・（健康づくり課）経過把握のための調査内容の見直し検討 ・（長寿社会課）対象施設先となる各施設の連絡箱を利用するなどして調査票の送付をする。 ・（障がい福祉課）対象施設先となるメーリングリストより調査票を送信し、回答依頼をおこなう。
		アウトプット （事業実施量）	調査を実施した施設からの回答率100%を目指す
		アウトカム （成果）	・入所施設において歯科健診実施率が前年度より増加



## 基本情報（実施計画3年間）

基本情報（実施計画3年間）			
11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	・長寿社会課高齢支援係保健師13名にてアンケート調査票を検討（管理職1名、正規職員11名、会計年度任用職員1名）
		プロセス （事業実施過程）	・効率的に対象者の把握を行い連絡訪問をするために、対象者全員に対してアンケート調査を実施して、状況を把握。その上で、地区担当保健師による連絡訪問が必要と判断された方を連絡訪問の対象者とした。
		アウトプット （事業実施量）	・対象者はR3年度に独居高齢者訪問対象者として抽出した13,062名中、実態未把握の3,392名とした。 ・R6.4.24にアンケート発送（返信期限：5月31日）。3,392名中1,808名の返信あり。
		アウトカム （成果）	・アンケートの返信率：53.3% ・受診状況の把握結果：1012名（29.8%）の受診を確認 （保健師による訪問・電話等、直接的な介入にて受診を確認：131名、アンケートのみで受診を確認：881名）
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	現在、アンケート返信結果を受けて地区担当保健師による連絡訪問を実施中であるため、今後アンケートや連絡訪問にて把握した高齢者の歯科受診状況の中から見えてくる課題の抽出や分析を行い、歯科保健担当課と情報共有を図り、高齢者の歯科口腔保健の推進を図っていききたい。	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	・長寿社会課高齢支援係保健師12名にてアンケート調査票を検討（管理職1名、正規職員10名、会計年度任用職員1名）
		プロセス （事業実施過程）	・効率的に対象者の把握を行い連絡訪問をするために、対象者全員に対してアンケート調査を実施して、状況を把握。その上で、地区担当保健師による連絡訪問を行う。
		アウトプット （事業実施量）	・対象者は75歳以上で医療（歯科含む）・健診・介護保険サービスを利用していない独居高齢者276名
		アウトカム （成果）	・アンケートの返信率：前年度と同程度を目指す ・保健師による連絡訪問にて対象者全員の状況を把握（把握率100%）。さらに、対象者の状況に応じて、適切な医療（歯科含む）等へのサービスにつなぐ。
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	・長寿社会課高齢支援係保健師12名にてアンケート調査票を検討（管理職1名、正規職員10名、会計年度任用職員1名）
		プロセス （事業実施過程）	・効率的に対象者の把握を行い連絡訪問をするために、対象者全員に対してアンケート調査を実施して、状況を把握。その上で、地区担当保健師による連絡訪問を行う。
		アウトプット （事業実施量）	・対象者は75歳以上で医療（歯科含む）・健診・介護保険サービスを利用していない独居高齢者
		アウトカム （成果）	・アンケートの返信率：前年度より増加を目指す ・保健師による連絡訪問にて対象者全員の状況を把握（把握率100%）。さらに、対象者の状況に応じて、適切な医療（歯科含む）等へのサービスにつなぐ。

## 事業基本情報

1	課名	保育幼稚園課		
2	事業名	乳幼児施設へのフッ化物洗口に関する情報提供	事業開始年度	2023年
3	事業分類 (複数可)	<input type="checkbox"/> 健診・検診 <input checked="" type="checkbox"/> 健康教育 <input checked="" type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 予防事業 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 医療提供体制の整備 <input type="checkbox"/> 連携体制の構築 <input type="checkbox"/> 多職種連携 <input type="checkbox"/> 医科歯科連携		
4	分野 (複数可)	<input type="checkbox"/> 歯科保健全般 <input checked="" type="checkbox"/> 母子歯科保健 <input type="checkbox"/> 学校歯科保健 <input type="checkbox"/> 成人歯科保健 <input type="checkbox"/> 高齢者歯科保健 <input type="checkbox"/> 障がい者歯科保健 <input type="checkbox"/> 災害歯科保健 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> その他（その他の分野：      ）		

## 事業概要

5	事業背景	子どもの発育・成長における乳歯の発達は、将来の歯の基礎的な機能を築く上でとても重要な過程といわれる。また、永久歯への生えかわり時期とあわせ、乳歯のうちからお口の健康づくりへの理解・推進を図り、う蝕予防対策として効果をあげるため実施するものである。		
6	目的	むし歯予防の推進体制の整備		
7	目標とその指標 具体的内容	目標	指標	指標に対する数値目標
		むし歯予防の推進体制の整備	乳幼児施設、小中学校におけるフッ化先口実施施設	乳幼児施設、小中学校におけるフッ化先口実施施設の増加 乳幼児80% (R14年度) <長期>
8	事業実施体制	<input type="checkbox"/> 歯科医師（常勤） <input type="checkbox"/> 歯科医師（非常勤） <input type="checkbox"/> 歯科衛生士（常勤） <input type="checkbox"/> 歯科衛生士（非常勤） <input type="checkbox"/> 保健師（常勤） <input type="checkbox"/> 保健師（非常勤） <input type="checkbox"/> 看護師（常勤） <input type="checkbox"/> 看護師（非常勤） <input type="checkbox"/> 管理栄養士（常勤） <input type="checkbox"/> 管理栄養士（非常勤） <input type="checkbox"/> 事務職（常勤） <input type="checkbox"/> 事務職（非常勤） <input checked="" type="checkbox"/> その他（行政保育士・行政幼稚園教諭）		
	外部連携先 (複数可)	<input type="checkbox"/> 歯科医師会 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士会 <input type="checkbox"/> 医師会 <input type="checkbox"/> 薬剤師会 <input type="checkbox"/> 歯科医療機関 <input type="checkbox"/> 看護協会 <input checked="" type="checkbox"/> 学校・保育所・幼稚園等 <input type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 介護事業所 <input type="checkbox"/> 障がい者（児）事業所 <input type="checkbox"/> その他市民ボランティア <input type="checkbox"/> その他（      ）		
9	対象者	乳幼児期（0歳～6歳）とその保護者、乳幼児教育・保育施設職員		
10	事業の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児教育・保育施設においては、園での歯磨き・フッ化物先口の実施継続（ブクブクうがいができない子へはフッ化の応用をはじめ、フッ化物入り歯磨剤および歯科医療機関でのフッ化物塗布の情報提供）</li> <li>・乳幼児教育・保育施設および市内の子育て支援センターでの歯科衛生士によるブラッシング指導や講話の実施</li> <li>・健康づくり課よりフッ化物洗口補助金希望の施設に支給している。</li> </ul>		

## 基本情報（実施計画3年間）

11	令和6年度事業評価結果	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児教育・保育施設での園歯科医によるお口の健康づくりの講話開催や歯科衛生士による親子ブラッシング指導の実施</li> <li>市内の乳幼児施設にフッ化物洗口について記載があるリーフレット配布</li> <li>歯科衛生士によるブラッシング指導や講話の実施</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児教育・保育施設から園歯科医に講話や歯科衛生士によるブラッシング指導の依頼をし、参観日等を利用して実施</li> <li>子育て支援センター巡回相談会（在宅で子育て中の親子）に保健師、管理栄養士、歯科衛生士の3職種が支援センターに出向き実施</li> <li>たんぼぼ（0歳の会）が開催されている2か所の支援センターに保健師、歯科衛生士の2職種が出向き実施</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立幼稚園では、参観日に園歯科医に講話と歯科衛生士によるブラッシング指導を実施し、公立の支援センター（4か所）においても歯科衛生士による講話とブラッシング指導を開催した。</li> <li>市内の子育て支援センター8か所で実施</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>園歯科医に講話や歯科衛生士によるブラッシング指導を受けたことで、参加者の意識が高まった。</li> <li>市内乳幼児施設にてフッ化物洗口を実施している施設は77.7%であった。</li> <li>子育て支援センター8か所において、495名が参加した。</li> <li>1歳6か月児健診時に支援センター利用者がフッ素塗布している者は21.3%であった（3歳児健診では数値把握困難）</li> </ul>
12	最終的な評価 （R6年度） （課題・今後の展望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立の乳幼児施設以外のフッ化物洗口を実施していない施設においては、施設長の施設方針もあるため、園歯科医からも呼びかけを一緒に行うことなどが必要である。支援センターに歯科衛生士が出向き、ブラッシング指導等を実施しているが、参加者は一部の市民に限られ、2回以上同じ人が相談に来ることもあるため、広く市民に周知できているとは言い難い。令和6年度の地域子育て支援センターの利用延べ人数は69,356名、子育て支援センターを活用する市民を増やすことによって、健康講話の周知につながると考えられる。</li> </ul>	
13	令和7年度事業計画	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児教育・保育施設での園歯科医によるお口の健康づくりの講話開催や歯科衛生士による親子ブラッシング指導の実施</li> <li>市内の乳幼児保育施設にフッ化物洗口について記載があるリーフレット配布</li> <li>歯科衛生士によるブラッシング指導や講話の実施</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児教育・保育施設から園歯科医に講話や歯科衛生士によるブラッシング指導の依頼をし、参観日等を利用して実施</li> <li>子育て支援センター巡回相談会（在宅で子育て中の親子）に保健師、管理栄養士、歯科衛生士の3職種が支援センターに出向き実施</li> <li>たんぼぼ（0歳の会）が開催されている2か所の支援センターに保健師、歯科衛生士の2職種が出向き実施</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立幼稚園では、参観日に園歯科医に講話と歯科衛生士によるブラッシング指導を実施し、公立の支援センター（4か所）においても歯科衛生士による講話とブラッシング指導を開催。</li> <li>市内の子育て支援センター8か所で実施</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>園歯科医に講話や歯科衛生士によるブラッシング指導を受けたことで、参加者の意識が高まることを目指す。</li> <li>市内乳幼児施設にてフッ化物洗口実施率を前年度より増加</li> <li>引き続き、子育て支援センター8か所で実施予定</li> <li>1歳6か月児健診時に支援センター利用者がフッ素塗布している者が前年度より増加</li> </ul>
14	令和8年度事業計画（案）	ストラクチャー （事業実施体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児教育・保育施設での園歯科医によるお口の健康づくりの講話開催や歯科衛生士による親子ブラッシング指導の実施</li> <li>市内の乳幼児保育施設にフッ化物洗口について記載があるリーフレット配布</li> <li>歯科衛生士によるブラッシング指導や講話の実施</li> </ul>
		プロセス （事業実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児教育・保育施設から園歯科医に講話や歯科衛生士によるブラッシング指導の依頼をし、参観日等を利用して実施</li> <li>子育て支援センター巡回相談会（在宅で子育て中の親子）に保健師、管理栄養士、歯科衛生士の3職種が支援センターに出向き実施</li> <li>たんぼぼ（0歳の会）が開催されている2か所の支援センターに保健師、歯科衛生士の2職種が出向き実施</li> </ul>
		アウトプット （事業実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立幼稚園では、参観日に園歯科医に講話と歯科衛生士によるブラッシング指導を実施し、公立の支援センター（4か所）においても歯科衛生士による講話とブラッシング指導を継続して開催予定</li> <li>市内の子育て支援センターで継続して実施予定</li> </ul>
		アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>園歯科医に講話や歯科衛生士によるブラッシング指導を受けたことで、参加者の意識が高まることを目指す。</li> <li>市内乳幼児施設にてフッ化物洗口実施率を前年度より増加を目指す。</li> <li>引き続き、子育て支援センターで継続して実施予定</li> <li>1歳6か月児健診時に支援センター利用者がフッ素塗布している者が前年度より増加を目指す。</li> </ul>